環境変化に対応

埼玉産業人クラブ

次の50年へさらなる飛躍

会員数最大規模 多彩な活動展開

秋の恒例行事の埼玉県産業振興懇談会

埼玉産業人クラブ（増田文治会長＝マスダック社長）は1964年4月3日に発足した。県内の企業、大学、金融機関、支援機関などの関係者約250人で構成している。年始の賀詞交歓会、春の定時総会、秋の埼玉県産業振興懇談会が年間の3大イベント。このほか、地区ごとの例会や日刊工業新聞社さいたま総局内で開く分科会など、多彩な活動を展開している。同クラブにとって来年は設立50周年の節目の年。異業種交流会の先駆けとして、次の50年に向けさらなる飛躍が期待される。

■活発な議論

埼玉産業人クラブにとって、埼玉県産業振興懇談会は毎年の秋の恒例行事。2012年度は第34回として10月22日にさいたま市浦和区の浦和ロイヤルパインズホテルで開いた。会員ら140人近くが参加。県経済の将来に向け、活発な議論が交わされた。

第1部では、松岡進埼玉県産業労働部長（当時）、秋山秀次郎埼玉県産業振興公社理事長、牟田口照恭埼玉県産業技術総合センター長ら県幹部8人が登壇。町田憲重都ローラー工業（草加市）社長や窪井要久保井塗装工業所（狭山市）社長など県内企業経営者4人と意見を交わした。

■知財関連の相談

町田社長の各種補助金申請支援に関する要望に対しては、松岡部長が産学連携支援センター埼玉の取り組みを紹介。また、窪井社長による知的財産関連の質問については、秋山理事長が同公社内に設置している知的財産総合支援センター埼玉に触れ、「昨年度は2400件を上回る知財関連の相談に答えた。今後もワンストップで対応していく」と述べた。また、中小企業金融円滑化法終了の影響を懸念する声に対しては、板東博之産業労働部金融課長が「必要以上に心配しないでいい。県内金融機関関係者も、対応を変えないと話している」と答えた。

■独自戦略を紹介

第2部では県内優良企業がプレゼンテーションを実施。

秋に産業振興懇談会

産官で意見交わす

大森機械工業（越谷市）の大森利夫社長、野火止製作所（新座市）の川上博史常務、マグネテックジャパン（所沢市）の物集高彦社長、ユー・エム・シー・エレクトロニクス（上尾市）の内山茂樹社長が、海外展開、技術開発、人材育成などについて、それぞれ独自の戦略を紹介した。

自動包装機を手がける大森機械工業の大森社長は、越谷市内の新工場「さくら工房」を紹介。「工場新設を機に当社の独自性を発揮し、発展につなげていきたい」と述べた。続いて登壇したレーザー加工を主力とする野火止製作所の川上常務は、小惑星探査機「はやぶさ」の着陸時に使われたカプセル回収ボックスの製造協力について話した。

磁選機などを開発・製造・販売するマグネテックジャパンの物集社長が紹介したのは、韓国や中国への展開事例。「海外企業が求める技術が、当社にはある」と強調した。最後に発表したユー・エム・シー・エレクトロニクスの内山社長は、電子機器受託製造サービス（EMS）が主力。中国やベトナムなど海外拠点の管理について、「しつけ、思いやり、気合、規律など日本の良い文化を現地従業員に教え込んでいる」と語った。

■インド経済講演

第3部では、インド最大の弁護士事務所「ラクシミ・クマラン&スリダラン」のシーターラーマン・サンパッツ最高経営責任者（CEO）兼エグゼクティブパートナーが講演。成長が期待されるインドの法律や経済などに関する話に、参加者は熱心に耳を傾けた。

「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」

県・りそな銀行など後援

第9回 県知事賞など5人表彰

定時総会での「埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰」も年間3大イベントの一つ。県内の中小・ベンチャー企業経営者を鼓舞する表彰制度。埼玉県、埼玉りそな銀行、日刊工業新聞社の後援、埼玉県商工会議所連合会など7団体の協力を得て、産業人クラブが04年に創設した。

今年4月30日には、さいたま市浦和区の浦和ロイヤルパインズホテルで第9回表彰式を開いた。上田清司埼玉県知事、増田会長、池田一義埼玉りそな銀行副社長、井水治博日刊工業新聞社社長が、5人の受賞者を表彰。受賞者には盾と、記念品として、まいづるや（春日部市）の羽子板などを贈った。その後、各受賞者が自社の特徴や将来ビジョンなどを発表した。

埼玉県知事賞の協和界面科学（新座市）は、表面特性を測定する理化学機器の開発製造が主力。亀井信一社長は技術開発への積極的な姿勢などが評価された。

授賞式後のプレゼンテーションでは「会社は公器なりという信念に基づき、長年ワークライフバランスに取り組んでいる」と説明し、男性社員の育児休暇取得率が100％であることや、社長が講師を務める勉強会の模様を紹介した。

会長賞の共同技研化学（所沢市）は、粘接着テープや多機能フィルムのメーカー。粘接着フィルム（テープ）に高分子材料を加工する技術を得意とし、12年に4度目の発明大賞（奨励賞）を受賞するなど各方面から高い評価を得ている。濱野尚吉社長は「瞬間接着できる両面テープを開発中で、まもなく市場投入できる」と明かした。

（次ページに続く）

概　要

◇１９６４年（昭39）４月３日設立　会員数２４８人
◇事務局所在地 ＝ さいたま市浦和区岸町７の12の４ニチモビル浦和４階
◇電話 ＝ ０４８・８７２・２２８１

特集・挑戦する日本の経営者たち

新たなチャレンジ重要

増田 文治 氏

（マスダック社長）

―埼玉産業人クラブが創立50年を迎えます。

「日本の産業・経済の発展のために、先人たちの築いた産業人クラブが50年を迎えることができるということは非常に喜ばしいことです。この間、いろいろなことがありました。日本を取り巻く環境も大きく変化しています。東日本大震災のように予期せぬことが、当たり前のように起きる時代です。政治・経済はもとより、社会構造そのものが変わっています。そうしたことに、いや応なしに対応していかなければいけません。埼玉産業人クラブにおける会員同士の連携やネットワークづくりは、産業界にとっても非常に役立っているのではないでしょうか。1社単独でという時代は終わりを告げています。今後も活発に活動を続けることで、県内経済の発展、日本の発展に寄与していくことができると思っています」

―2010年4月に会長に就任して以来、会員各社の交流が盛んに行われています。

「新年賀詞交歓会や、4月の定時総会のほか、県内の優秀な経営者を表彰する『埼玉ちゃれんじ企業経営者表彰』、『西海賞』、埼玉県の上田清司知事を招いた埼玉県産業振興懇談会など数多くの行事を行っています。また、日本工業大学との産学交流組織である『NITEC埼玉産学交流会』や東京電機大学との産学交流組織『TDU産学交流会』といった産学連携を深める場もあります。また、若手経営者を対象にした埼玉ビジネス研究会や、日刊工業新聞社さいたま総局の会議室を利用し、小人数のセミナーを行う分科会も盛んです。こうした場を通じて、会員各社の事業のヒントにもなっているのではないでしょうか」

―会員数は約250と全国でも最大の組織を誇っています。

「会員各社における事業内容は多種多様です。当然、集まるメンバーも多士済々ですが、県内やその業界を代表されるような方々がほとんどです。異業種の方々と話をすることは、一見なんの関係もないように思うかもしれません。しかし、業界が異なることで、物事を見る角度が変わります。刺激を受けることも多く、たくさんの経営のヒントが隠されていると思います」

―今後の活動についてお聞かせ下さい。

「50年という伝統を守りつつも、新たなことにチャレンジしていくことが、それぞれの会員企業にとっても、産業人クラブそのものにとっても重要だと思います。冒頭でも触れましたが、社会環境は大きく変化しています。グローバル化や新産業育成など産業界の課題は尽きません。8代目の会長として、埼玉県経済の発展に力を尽くしていきたいと考えています」

会長インタビュー

〔埼　玉〕一般機械器具製造業
代表取締役社長 小嶋隆善
株式会社小島鉄工所
〒333-0845 埼玉県川口市上青木西1-3-40
TEL.048(251)4292㈹ FAX.048(251)8473
URL：http://www.machinemate.or.jp/member/kojima/

〔埼　玉〕Total Sign Solutions
代表取締役会長 藤池誠治
株式会社デサン
〒331-0815 さいたま市北区大成町4-140
TEL.048(651)1881㈹ FAX.048(664)7276
URL：http://www.dessin.co.jp

〔埼　玉〕減・変速機総合メーカー
代表取締役 長谷川勉
株式会社長谷川鉄工所
〒339-0042 さいたま市岩槻区府内3-1-1
TEL.048(798)7511 FAX.048(798)7375
URL：http://www.hase-gear.co.jp

〔埼　玉〕KHK® STOCK GEARS
代表取締役社長 小原敏治
小原歯車工業株式会社
〒332-0022 埼玉県川口市仲町13-17
TEL.048(255)4871㈹ FAX.048(256)2269
URL：http://www.khkgears.co.jp

〔埼　玉〕自動車用機器・建設機械用機器・油空圧機器・電子制御機器
代表取締役社長 末永昭
三輪精機株式会社
〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 3-1-1
TEL.049(211)3001 FAX.049(211)3016
URL：http://www.sanwaseiki.co.jp

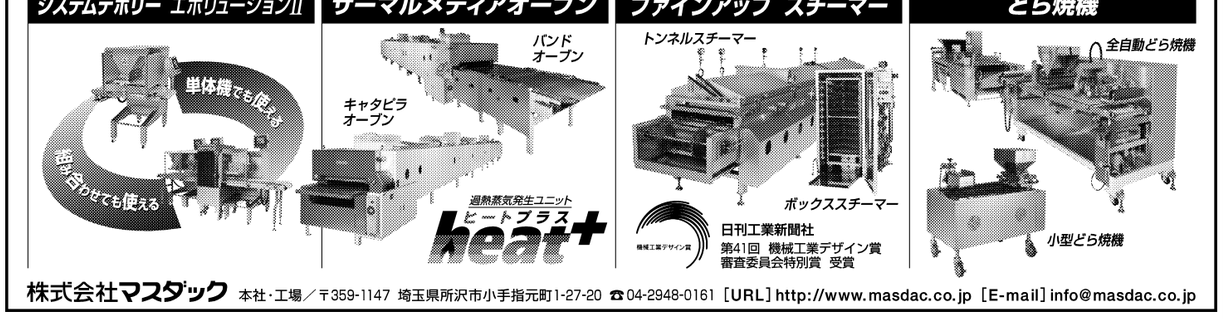
〔埼　玉〕表面処理、熱処理の専業メーカー
代表取締役社長 吉野寛治
吉野電化工業株式会社
〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷5－1－19
TEL.048(951)1111 FAX.048(993)3335
URL：http://www.yoshinodenka.com

〔埼　玉〕巻線機で世界トップ・シェア「巻く」をコアとする自動化設備のグローバル・メーカー
代表取締役社長 近藤進茂
日特エンジニアリング株式会社
〒336-8561 埼玉県さいたま市南区白幡5-11-20
TEL.048(837)2011㈹ FAX.048(837)2028
URL：http://www.nittoku.co.jp

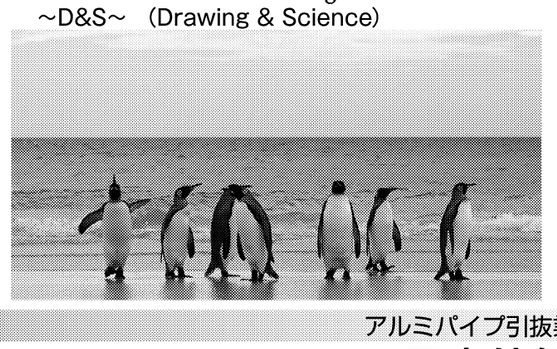
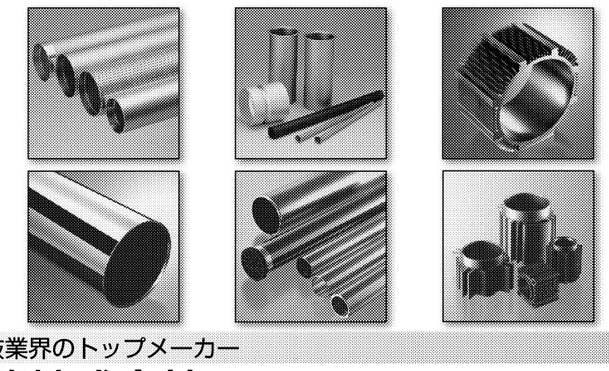
〔埼　玉〕特殊潤滑剤・フッ素関連製品・ホビー関連用品 天然炭酸水製造　清涼飲料水販売
代表取締役 前田知憲
株式会社ハーベス
〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-14 パークサイドガクヤビル
TEL.048(824)2821 FAX.048(824)2826
URL：http://www.harves.co.jp

〔埼　玉〕家庭用LPガス・各種一般高圧ガスと関連機器、ミネラルウォーター宅配事業等
代表取締役社長 川本武彦
株式会社サイサン
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-5
TEL.048(641)8211㈹ FAX.048(645)2325
URL：http://www.saisan.net

〔埼　玉〕光学ガラス・光ファイバー製造
代表取締役社長 住田利明
株式会社住田光学ガラス
〒330-8565 さいたま市浦和区針ヶ谷4-7-25
TEL.048(832)3165㈹ FAX.048(824)0734
URL：http://www.sumita-opt.co.jp

そのお菓子づくりを、もっと美味しく、新しく。 MASDAC
高い生産能力。使いやすく、優れた安全性 システムデポリー エボリューションII
過熱蒸気で品質向上・生産性アップ・省エネ効果 サーマルメディアオーブン
セイロ蒸しの再現 ファインアップ スチーマー
選べる充実のラインナップ どら焼機


株式会社マスダック 本社・工場／〒359-1147 埼玉県所沢市小手指元町1-27-20 ☎04-2948-0161［URL］http://www.masdac.co.jp［E-mail］info@masdac.co.jp

小さな世界一企業をめざす
NISSIN Advanced Technologies ～D&S～ (Drawing & Science)
アルミ管引抜を科学する“ニッシン”は南極で使われた氷掘削用パイプを製造し地球環境の変動の解明に貢献しています


アルミパイプ引抜業界のトップメーカー
日本伸管株式会社
本社・工場・アルマイト工場／〒352-0005 埼玉県新座市中野1-10-22 TEL 048-477-7331 FAX 048-477-7888
白河工場／〒961-8061 福島県西白河郡西郷村小田倉字大平176 TEL 0248-25-2141 FAX 0248-25-0593
日本伸管タイランド株式会社（ロジャナ工業団地内）／TEL +66 (0) -35-200-980 FAX +66 (0) 35-200-982
http://www.nihonshinkan.co.jp